

岡山大学病院は、造血幹細胞移植推進拠点病院の事業として、造血幹細胞移植に携わる専門的な医療従事者、及び地域の医療従事者の育成を目的としたセミナー、実地研修を行っています。

厚生労働省 造血幹細胞移植医療体制整備事業

第2回 造血細胞移植推進拠点病院 中国ブロックセミナー アンケート報告

2016/7/23（土）13：00～17：00

岡山県医師会館2F 三木記念ホール

医療従事者を対象に、移植後のウィルス感染症の解明と克服について、教育講演を開催しました。

参加者46名：うち内科医師14名 小児科医師1名 歯科医師1名 研修医2名 看護師22名 HCTC4名 歯科衛生士1名 臨床検査技師1名
(岡大含めて10施設参加)

講演

13:00~14:00

「造血細胞移植後のウイルス性出血性膀胱炎」

九州大学病院 血液腫瘍内科 森 康雄 先生

14:00~15:00

「移植医が知っておくと役に立つワクチンのお話」

岡山大学病院 小児科 八代 将登 先生

15:00~16:00

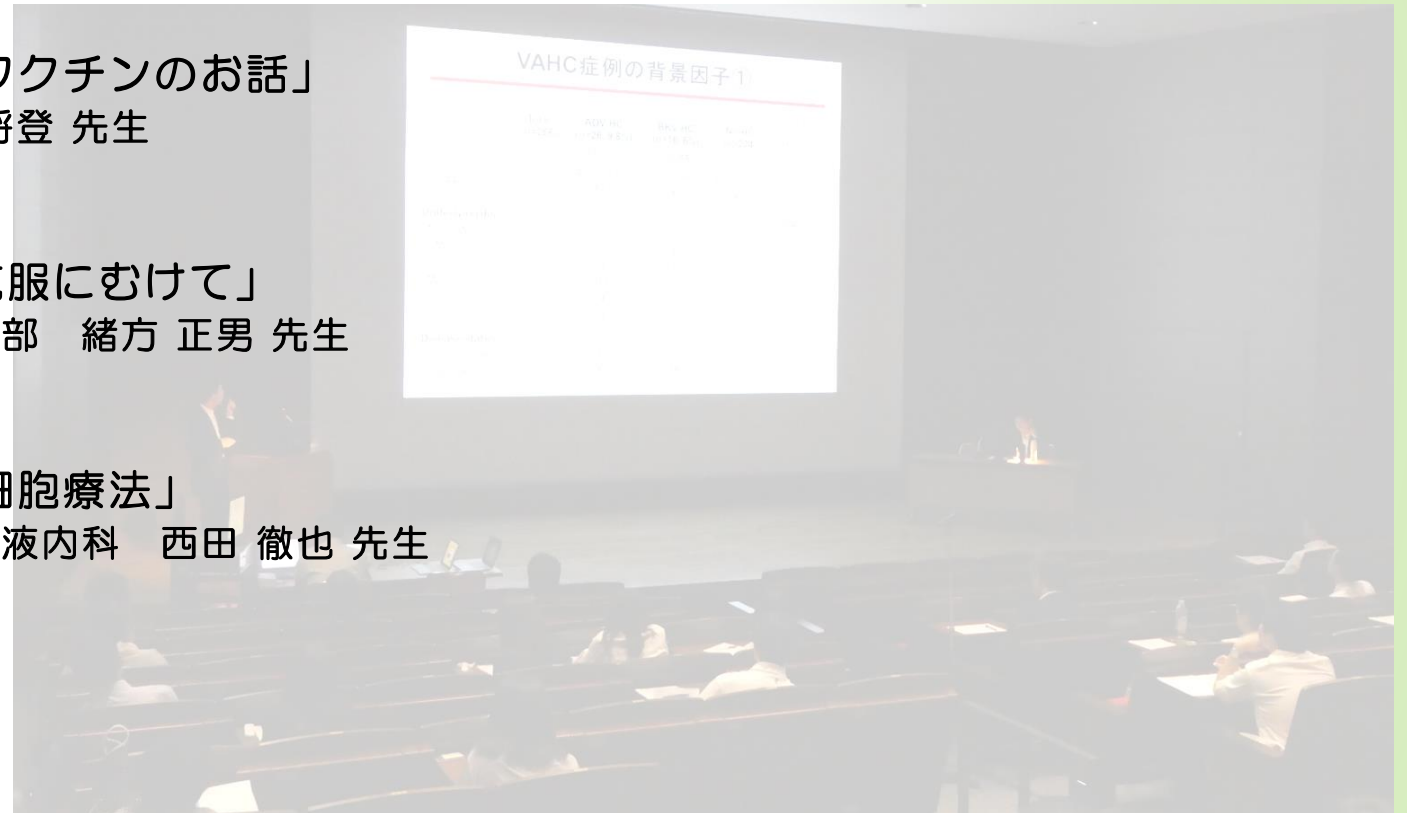
「移植後HHV-6感染症の解明と克服にむけて」

大分大学医学部附属病院 輸血部 緒方 正男 先生

16:00~17:00

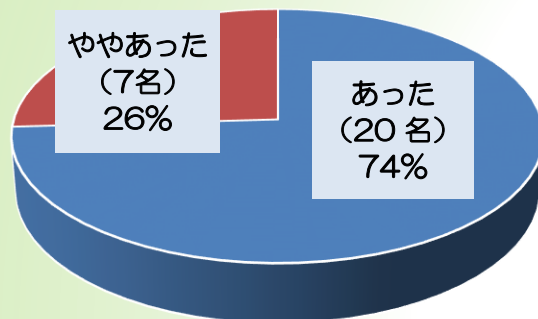
「サイトメガロウイルスに対する細胞療法」

名古屋大学医学部附属病院 血液内科 西田 徹也 先生



第2回中国ブロックセミナー アンケート報告 —セミナー全般について—

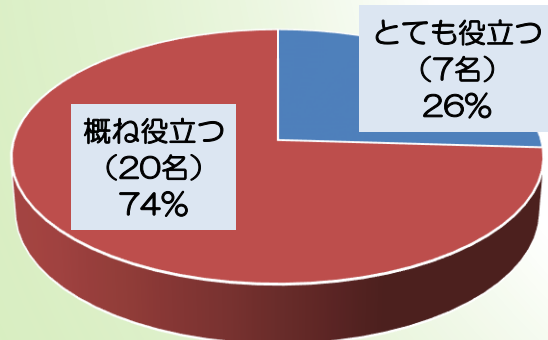
セミナーへの参加意義



【参加意義があった】

- Nsの私には少し難しい内容で、初めて知る内容ばかりだった。日頃小児科外来で移植後の患児の看護を行っているが、入院中の移植の経過などを実際に知る機会が少なかったので、とても勉強になった。今後の外来での看護に活かして行きたい。
- 臨床で困っている合併症についてよく理解できた。

実践への役立ち度



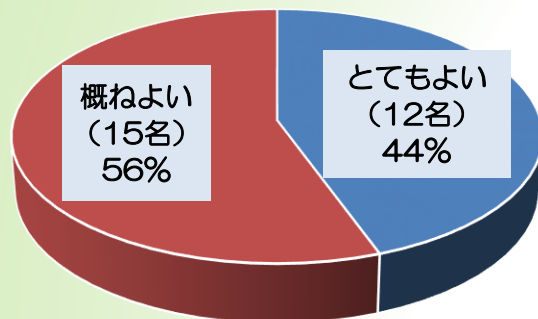
【とても役立つ】

- 初めて知るワードも多々あったが、全体的にとっても分かりやすい説明で本当に勉強になった。ふだん病棟でDrがされていることを目にしたり指示として受けていたことが、今回の講演を通していくつかつながり、私自身理解して処置を行っていけそうな内容もあった。また、早期に患者様の感染などに気づいていけるような臨床症状（検査結果だけではなく）としての内容を知り、日々患者様と関わっていき、Drの診療の役に立てるよう取り組んでいきたいと思った。

アンケート回収率 59%

第2回中国ブロックセミナー アンケート報告 —セミナー全般について—

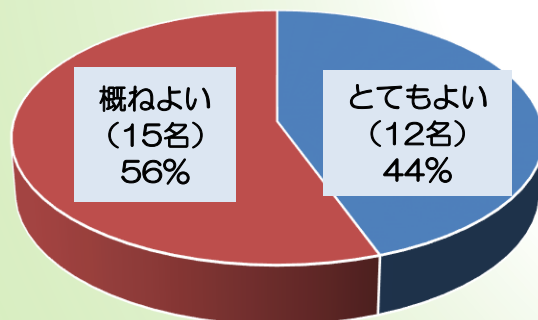
セミナーの評価



【とてもよい】

- 初めて知るワードも多々あったが、全体的にとても分かりやすい説明で本当に勉強になった。
- Nsでもわかりやすい内容でよかった。
- 非常に勉強になり、ためになった。
- 会場もよかった。

プログラムの構成



【とてもよい】

- ウイルスの話を詳しく聞いて勉強になった。
- 実際に遭遇する事象ばかりで、とても勉強になった。
- 特に緒方先生の講演がすばらしかった。もう少し移植後のワクチンについて教えていただきたいかったがどの講演もとてもわかりやすく、とても勉強になった。

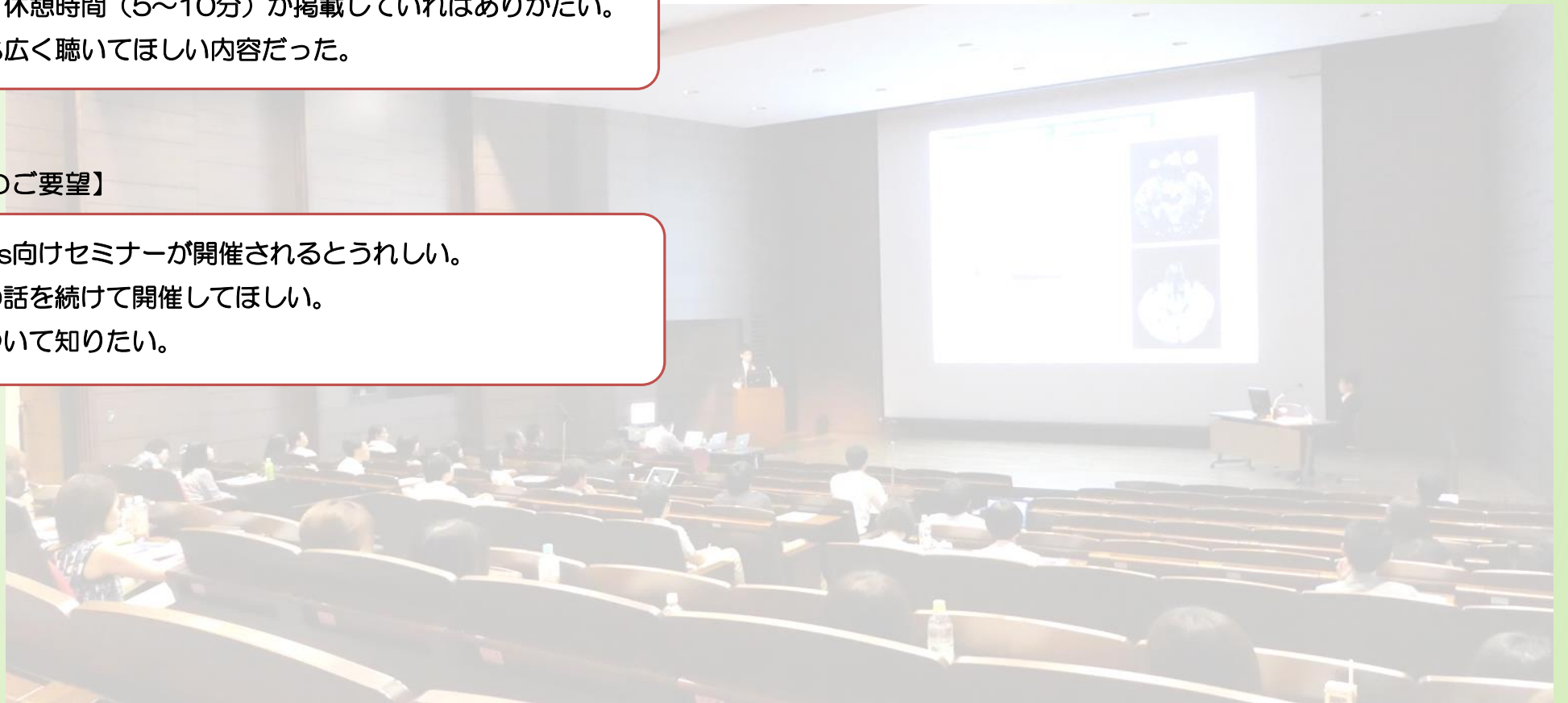
第2回中国ブロックセミナー アンケート報告 —その他感想、次回セミナーへの要望など—

【感想】

- 講演資料はすべてほしい。
- プログラムに、休憩時間（5～10分）が掲載していればありがたい。
- 病棟ナースにも広く聴いてほしい内容だった。

【次回セミナーへのご要望】

- 医師による、Ns向けセミナーが開催されるとうれしい。
- 今後も、医師の話が続けて開催してほしい。
- ハプロ移植について知りたい。



第2回中国ブロックセミナー アンケート報告



おかげさまで「第2回造血細胞移植推進拠点病院中国ブロックセミナー」を無事終えることができました。ご出席者のみなさま、関係者のみなさまには心よりお礼申し上げます。

看護師にもわかりやすい、と大変好評のセミナーでした。初めて知る内容ばかりでとても勉強になった、との感想が多くありました。皆さまの声をもとに、引き続いて、医師による看護師向けのセミナーを考えていきたいと思っております。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

造血幹細胞移植医療体制整備事業 事務局